

# 身近なところからリサイクル ～チョークとペットボトル～

福岡県立八幡高等学校 12B

班員 小川 星本 秦 小田 端倉 今村 河津 柴田

ゴール番号12  
つくる責任 つかう責任



ターゲット番号12.5

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

## 目標

身近なものから分別や再生利用を促すことで身近なゴミの問題を解決する

## 動機

八幡高校のゴミ箱を調査したとき  
・ペットボトルの分別ができていない  
・チョークのゴミが多い  
(2週間で約1300g)

↓  
八幡高校生の意識が低い！  
知らない人が多いのでは？

↓  
意識を上げるべき



## 研究内容

### ・ペットボトル

八幡高校生はペットボトルを分別することを知らないのでは？



まずはペットボトル分別の意識を高める



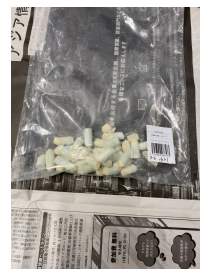
ポスター等で呼びかけ

### ・チョーク

チョークがリサイクルできることは知られていない



自分たちで再生チョークを作る



## アクションプラン

ペットボトルの分別のポスター制作  
ピロティにキャップ回収箱設置

分別してないの？

—3つに分けよう！ペットボトル—

夢現プロジェクト 12B班

## 考察

### ・ペットボトル

回収箱を設置したことで、分別をする人が増えた  
→ゴミ箱の近くに回収箱を設置したことで分別の手間が減り、してくれる人が増えた

### ・チョーク

自分で好きな形や色に変形できるため、持ちやすいチョークや普通はない色などを作れる

## アクションプラン

再生利用チョークの制作



<結果>

三角形に作ったため、丸いチョークよりも持ちやすく、書きやすかった

## 今後の展望

再生チョークを作るイベントを開催する

「みんなで作ろう！夢現チョーク」

日時 12月19日(月)

場所 2年6組教室

自分だけのオリジナルチョークを作ることで学校で出た、チョークのゴミを再利用することができます！  
作ったチョークは自分の家、学校で使ってみてください

参考文献

<https://kariya-h.aichi-c.ed.jp/school/ssh/ssh2/image/H281021-4.pdf>

<https://www.rikagaku.co.jp/>